

今月は「ごむとび」というあそびです。

外で遊ぶことが多かったこども時代。誰かが誘うというわけでもないけれど、気が付くといつの間にか近所の友だちが集まって女の子は特にごむとびを楽しんでいました。持ち手は二人で端と端を持ち、一番最初は地面と言ってごむを長く編んだ紐を地面すれすれに置きます。跳び方で流行っていたのは「ぱっちんとび」と言って跳ぶ時にごむの真上で両足をパチンと慣らす跳び方です。次は膝、腰、脇、頭、手を挙げて、と難易度が上がり、ひっかからないよう跳べたら成功。脇から上は「おまる」と言って足をかけながら跳ぶことも許されていて年上のお姉さんたちがくるりん、と回りながら上手く跳ぶのをあこがれて見ながら自分も大きくなったらああやって跳ぶぞ、と思っていた頃が今も鮮明に思い出されます。

河合 比呂子

稲刈りをしました

いよいよ稲刈りの時期が来ました。稲穂が黄金色に染まっていく様子を見守りながら「いつとるの？」と楽しみに待っていました。鎌を使うのは初めての事。「ゆびをきらんように」とおそるおそる。「なかなかきれいな、むすかしい」と四苦八苦しながら、刈った稲穂をみて大満足のようでした。



10月



- 1(土) 運動会【2(日) 運動会予備日】
- 3(月)～7(金) 個別懇談
- 4(火) おでかけ図書館(0～3歳児)
歯みがき指導(4・5歳児)
- 5(水) 就学前検診(5歳児)
- 17(月) 青色パトロール交通指導(4・5歳児)
- 18(火)・19(水) 入園見学会(新入園児)
- 19(水) 山陽東小学校就学児検診(5歳児)
- 21(金) 健脚活動
- 24(月) 避難訓練
- 25(火) 山陽北小学校就学児検診(5歳児)
- 27(木) 誕生会
- 28(金) 芋ほり(4・5歳児)
- 31(月) ほし組お泊り保育説明会(4歳児)

…バナナ生長日記…

バナナの実は、暑さにも台風にも負けずに育っているようです。いつ食べられるか、楽しみです。



←2つ目の花芽です

また、先日パンジーの種まきをしました。都合がつかなかった方もおられ、「残念です」と言われていました。

細かい種で、見失うこともありましたが、楽しみながら蒔くことができました。



11月

- 2(水) 熊山登山(5歳児)
- 4(木) 桜が丘小学校就学児検診(5歳児)
- 8(火) お泊りごっこ(4歳児)
- 10(木)・11(金) お泊り保育(4歳児)
- 18(金) 誕生会
- 21(火) 健脚活動
- 24(木) 避難訓練



お知らせ

ほし組担任 奥山愛花が10月1日より^{みもと}三本愛花になりました。

いちょうの森だより



いちょうの森こども園 園だより No.67



いちょうの森こども園 HP には、QR コードまたは下記の HP アドレスよりアクセスできます。

<https://ichounomori.okayamakodomokyoukai.jp/>

令和4年10月3日 発行
いちょうの森こども園 園だより
桜が丘東3-3-496
TEL 086(956)2022
FAX 086(956)2023

「安心できる声かけ」

今年度も、おとなもこどもも安心できるようにいつでも話を聞けるように心掛けています。

ある日、ともだちとぶつかったと泣きながら私のところに来たAさん。痛いといったところを見ると赤くもなっておらず、腫れてもいなかったのでも「痛かったね。赤くなっていないか様子みようか？」と声をかけるとうなずき、涙も止まりクラスに帰って行きました。あとで担任に聞くと『田中先生が大丈夫と言ってくれた』と安心した様子で帰ってきましたよ」と言っていました。

また、ある日はBくんが給食の用意をしようとせず、不機嫌に座っていました。担任に話を聞くと、ともだちと順番の取り合いをして、機嫌が悪くなったと言っていました。Bくんに話をすると、何も言わないがうなずいていました。「嫌なことを話したら、少しすっきりするよ」と言って、何が嫌だったのかを質問し、Bくんの気持ちを聞いていくとだんだんと気持ちが落ち着いていき、給食の準備をして食べることが出来ました。その時、私の言葉かけで安心してもらえたことが嬉しく思いました。

これからも、こどもだけでなく大人も安心できるように心がけ、日々過ごしていきたいと思っています。不安なことだけでなく、たわいのない話でもいいのでいつでも声をかけてください。

田中 知恵



楽しいこと、面白いことを見つけたよ。一人にひとつのお風呂みたいでしょう？

お気に入りの絵本



そら組

おいしいのぼうけん

保育園には怖いものが二つあり、暗い押し入れと劇に出てくるねずみばあさん。ある日押し入れの中に入った、さとしとあきらが暗くて不安な気持ち、大人に腹が立つ気持ち、不思議な世界に引き込まれながら冒険心がむくむくと沸いて来る気持ち、など、こどもたちが共感できる思いがいっぱい。長いお話ですが「次はどうなるの？」とあっという間に読み終わりました。昔からある名作です。ぜひ一緒に読んでみてはいかがでしょうか？



ばななくんがね…

にじ組

「～さんがね」シリーズが大好きなこどもたち。その中でも「ばななさんがね」と「りんごさんがね」が特に好きなようです。どのシリーズにも「しんぱい ごむよう！」のページがあり、そのシーンになると一気に盛り上がり、真似をしています。今ではみんなの息がピッタリあっていつも楽しく読んでいます。



ほし組

ぞうのたまごのたまごやき

王子様が生まれたお祝いに大好きなたまご焼きを“国中の人にご馳走してあげたい”と王様が家来たちに命令します。一度にたくさん作れるたまご…。ゾウのたまごを探して家来たちは変なうたを歌いながら森を進みます。最後は、ゾウを見つけ連れて帰りますが、たまごを産まない動物ということを知って、みんなで大笑いするという物語です。少し長い話ですが、友だちと何度も読んで夢中になっている面白い絵本です。



ゆき組

くらい くらい

たくさんある絵本の中で、ゆき組が特に気に入るのが『くらい くらい』です。動物の影が描かれていて「まっくらくらくら くらーいくらい でんきをつけて ちょうだい」の文章と共にページをめくると電気のついた部屋に動物たちが描かれています。「この影は誰の影かな？」と考えるのも面白いようで、何度も見て覚えてしまう子もいます。



つき組

ねずみくんのチョコッキ

ねずみくんのチョコッキを楽しんで読んでいます。今までに「ねずみくんおおきくなったらなにになる？」「どうしちゃったの？ねずみくん」など様々な本を読んできていて、字は読めないけど前に読んでもらったことを真似して、「ねずみくんは～」と読み聞かせ風にながら読んでいます。



ばいばい

はな組

絵本の中で、いろいろな動物たちが登場してきます。また「こんにちば」の時に、頭をペコッと下げとお辞儀をし、「バイバイ」の時には、笑顔で手を振っています。こどもたちも、保育者に『ばいばい』の絵本を自ら持ってくるほど、はな組のお気に入りの一冊になっています。

